

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	対人関係の心理 (Psychology of Human Relations)	新座(Niiza)	
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	対人関係が人の認知・感情・行動に及ぼす影響		
担当者名 (Instructor)	川久保 惇(KAWAKUBO ATSUSHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2400	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標 (Course Objectives)

私たちが社会生活を送る上で、他者との関わりを避けることは困難である。そのため、世の中の多くの人が自己のみならず他者や対人関係に興味を持っていることは、共通の認識として共有できる。

本講義では、対人関係に関する社会心理学の知見をもとに、対人関係に起因する諸問題について理解することを目的とする。対人関係によって生じる心の動きやさまざまな問題について、社会心理学的観点から理解を深め、日常生活に役立てる。

As long as we live in society, it is difficult to avoid involvement with others. For that reason, we have a common view that many people in the world are interested in themselves, others and interpersonal relationships.

The aim of this course is to help students acquire understanding of various problems caused by interpersonal relationships and use this learning for everyday life.

#### 授業の内容 (Course Contents)

各回では自己と他者の関わりから始まり、対人認知、社会的態度、集団の影響力や対人関係の各段階(親密な関係の形成・発展・維持・崩壊)といったテーマを取り上げる。各テーマの基本的な用語、概念を解説しながら、それらに関する具体的な研究を紹介することで対人関係の諸問題に対する理解を深めていく。人の悩みの多くは、対人関係が原因となる。そのため、「良好なコミュニケーションとは何か?」、「なぜ助けてと言えないのか?」や「空気を読むとは何か?」などの日常生活で感じる疑問にも焦点を当てながら、講義を進める。

講義は主にパワーポイントを用いて進めるが、必要に応じて映像教材なども使用する。毎回の講義の終わりにはコメントペーパーを作成し、提出してもらう。コメントペーパーの作成は、講義で学んだ知識を整理する上で重要であるため、各学生の積極的な取り組みが求められる。

This course introduces the relationship between oneself and others, and deals with topics, such as interpersonal cognition, social attitude, group influence, and the stages of interpersonal relationships (formation, development, maintenance, and collapse of intimate relationships). While explaining the basic terms and concepts of each theme, this course introduces concrete examples on them and enhances students' understanding of interpersonal issues. Everyone has worries, and many of them are caused by interpersonal relationships. For this reason, lectures focus on questions in daily life such as "What is good communication?", "Why people can't ask others for help?" and "What is reading between the lines?".

This course will be conducted mainly using PowerPoint, but video teaching materials also will be used as needed. At the end of each lecture, all students have to submit a comment paper.

#### 授業計画 (Course Schedule)

1. ガイダンス: 対人コミュニケーションの社会心理学
2. 対人関係における自己: 自己概念、自己呈示と自己開示  
自分はどんな人か? 自分のことを人にどう伝えるか?
3. 対人関係における他者: 社会的認知と対人魅力  
どのような相手に魅力を感じ、好意を抱くか?
4. 集団と対人関係  
集団が個人に及ぼす影響とは?
5. 対人関係の形成と発展  
他人から友だち、親友や恋人に至るプロセスとは?
6. 恋愛: 出会いと別れ  
吊り橋効果は実在するか?
7. 対人影響力  
相手を説得するにはどうしたら良いのか?
8. ソーシャルスキル  
円滑な対人関係を築くにはどうしたら良いのか?
9. 援助要請の社会心理学  
人はなぜ助けてと言えないのか?

10. 攻撃行動  
どのような時に人は攻撃的になるのか？
11. メディアコミュニケーション  
コミュニケーション環境の変化と対人関係
12. 対人関係と健康  
対人関係が人の身体的・精神的健康を悪化させる？
13. カウンセリングにおける対人関係  
人はなぜカウンセリングを受けるのか？
14. 講義の総括

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

毎回の講義資料に目を通し、内容への理解を深め、知識の定着を図ること。  
各授業の復習を通じて、レポート試験への準備をきちんとすること。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(70%)/授業終了時に提出するリアクションペーパー(30%)

#### テキスト(Textbooks)

特にテキストは指定しない。適宜、プリントなどの資料を配布する。

#### 参考文献(Readings)

各回の授業で参考文献を紹介する。

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

パワーポイントを使用した講義形式で、映像資料も適宜活用する。  
講義形式を中心とするが、リアクションペーパー提出への積極的な受講態度を期待する。

#### 注意事項(Notice)